

## 大いに学べ

受験勉強ご苦労様でした。今までこんなに勉強したことはなかったでしょう。想像していた以上に辛く厳しかったと思います。しかしながら、学年集会で何度も話してきましたが、学ぶ楽しさも味わえたことでしょう。皆さんは毎日毎日新しい事実を知り、知識を増大させてきました。社会問題・国際問題に関する論説を日本語そして英語で相当数読みました。科学論文の一説を読み、まだ解明されていないことの多さを感じたことでしょう。今まで知らなかったことを知り、見えなかったことが見えるようになることの喜びの大きさを体感したことでしょう。問題点の原因を探り、その解決策を模索することこそ学問の精髓です。言い換えると、表層から深層を見抜き、今後を予測し、改善方法を提示・実行していくことにつなげていくことが学ぶ意義である考えられます。そしてそれが学ぶ喜びを与えてくれるのです。

さあ、高等学校を卒業し、来年度（または1, 2年後）に最高学府へと進む皆さんは学問の世界にどっぷり浸かれます。そのための下地は不動岡高校でできました。大いに学び、研究することを楽しんでください。今回は進路だよりの最終号になりますが、「いざや学ばん」はさらに皆さんの中で続きます。またいつか不動岡高校を訪れた際には、大学での研究の話をお聞かせください。ご活躍をお祈りしています。

学年主任 松本 裕行

## これからやること

- ◎ 担任への合否報告はすませましたか？ 国公立大後期日程受験組（昨日はお疲れ様でした！）も含め、これから結果が判明するという人も、分かり次第、担任へ報告してください。
- ◎ 今日が提出日の「卒業生へのアンケート」「一般入試 受験報告」を書き終えていない人は、すみやかに作成し、担任に提出してください。
- ◎ 使い終わった参考書・問題集を学校へ寄付してもらえると後輩たちも助かります。後日でも構いませんので、持ってきてくれる人は大歓迎です。進路室・吉田まで！

【合格した人は…】

- 入学先を担任に報告してください。

【合格できなかった人は…】

- △ 今後の行き先を担任と相談してください。浪人をする場合は、自宅で勉強するのか予備校に通うのか、予備校に通う場合はどの予備校のどの校舎に通うのかの選択を含めて相談してください。

## 【浪人する場合】

来年度の受験に関する手続きは、すべて自分で行うこととなります。例えば…

- ◇ センター試験や国公立大&私大入試の申し込みは、各自で募集要項を取り寄せて行うこととなります。特に自宅浪人となる者は、情報のアンテナを高く張っておくようにしてください。
- ◇ 調査書は出願締切日直前にならないように余裕をもって、旧担任に必要な数を電話で連絡してください。その上で不動岡高校に来校し事務室に発行願を提出してください。その際、1通につき400円の埼玉県収入証紙が必要となります（詳細は、本日配布される事務室からのプリントを参照）。

## あなたは受験とどう向き合ってきたか？

### シーン1

2月27日の朝、3年生のある教室を覗くと、1人の生徒が黙々と勉強に励んでいた。その生徒の第一志望校は、前日まで前期日程試験が行われていたので、早くも気持ちを切り替えて第二志望校に向けた準備を開始していたようである。

先生：「〇〇大学の試験はどうだった？ 何とかかなりそうかい？」

生徒：「先生、自己採点の結果では、かなり厳しそうです。」

先生：「私立の□□大学にも合格しているのだから、よく頑張ったんじゃないか？」

生徒：「でも、国立大学で△△学を学びたいので、後期に向けて頑張ります。5教科やってきた意地もあるので、最後までやり切ります。」

この言葉を聞き、なぜかとても清々しい気持ちになった。

きっと、きのう第二志望校の答案用紙に、この3年間の努力の成果を記してきたはずである。

## 学びは続く、どこまでも…

卒業式を明日に控えて、受験の結果が出揃ったという人も多いことでしょう。受験は勝負事(!?)ですから、合格する人もいれば、不合格となる人も必ずいます。めでたく第一志望の大学に合格できた人、何よりでした。その大学の名前に満足することなくこれからも学び続けましょう。そうでないとあつという間に逆転されてしまいます。

努力をしたにも関わらず、上位志望校に合格できなかったという人もたくさんいることでしょう。

4月から、無事進学することになった人の中にも、受験の結果に不満をかかえたままという人もいるかもしれません。自分の怠惰をなげくのもよし、不運を悲しむのもよし。

でも…、進学することになった学校があなたにとって最高の学び舎であるという気持ちを持ってもらいたいです。多くの人たちにとって、大学時代は、これからどういう仕事についてどういう形で社会の貢献していくのかを考える時間になります。いろんなことを考えながら、今までやってこなかったことにトライしつつ、自分にはどういうポテンシャルがあるのかを発見する時間にしてほしい。そのためにも早く動き出そう。

次の卒業式の日には、「最高の学校だった」と振り返ることができるような充実した学生生活を送れるよう、今後も前向きに努力を続けてください。